

はらむら



議会だより

第110号

平成24年8月10日発行

発行／長野県諏訪郡

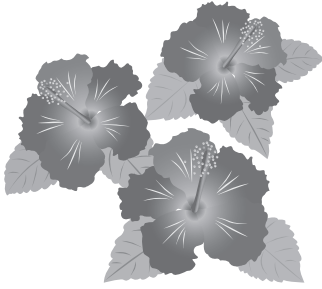
原村議会

編集／議会広報編集委員会

TEL 0266-79-2111

FAX 0266-79-7951

☎ 391-0192



小学校プール



原村消防ポンプ操法大会



■平成24年■
**第2回
定例会**

- 6月定例会 2
- 第1回臨時会 3
- 委員会報告 4
- 一般質問 6
- 議会日誌 10

第1回臨時会

臨時会が5月7日に開催され、村長より提出された原
中学校教室棟改修工事請負契約の締結など5件を審議し
た。

◎原村国民健康保険条例の
一部を改正する条例

〈専決処分の承認〉

「地方税法の一部を改正する法律」が平成23年12月14日に公布されたことにもなうもの（東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長の特例）

それぞれ10億1千157万4千円とする。

◎平成23年度原村一般会計補正予算（第8号）

〈専決処分の承認〉

2千829万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、それぞれ38億3千370万3千円とする。

◎平成23年度原村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）

〈専決処分の承認〉

4千432万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を、そ

◎平成23年度学校施設環境改善交付金 原中学校教室棟大規模改修工事（1期）請負契約の締結

契約金額6千300万円。教室棟の老朽化にともない教室の床と天井のふき替え、窓の取替えなどを行う。工期は10月31日まで、授業に支障が出ないよう夏休みを中心に行う。



平成24年第1回臨時会 審議結果

表記：○は賛成、×は反対、▽は退席、－は欠席

議案等 番号	議案名等	議員名										審議結果
		小池和男	宮坂早苗	鮫島和美	木下貞彦	小池利治	矢島昌彦	小平雅彦	長谷川寛	日達徳吉	小林庄三郎	
《村長提出》												
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（原村税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（原村国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度原村一般会計補正予算(第8号)）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成23年度原村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第31号	平成23年度学校施設環境改善交付金 原中学校教室棟大規模改修工事(1期)請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



牛山委員長 田中職務代理 野波委員 小池委員

原村選挙管理委員
及び補充員の皆さんです

◎委員

委員長 牛山 和雄（天久保）

職務代理 田中 隆治（払沢）

委員 野波 愛一（ペンション）

委員 小池 保二（中新田）

◎補充員

小池 寛（ハッ手）

小松 一朗（判之木）

長田 敏雄（菅浦沢）

菊池 利治（中新田）

任期 平成24年5月7日から

平成28年5月6日まで（4年間）

委員会報告

総務産業常任委員会

委員長 小平 雅彦

24年度一般会計補正予算、条例改正など、3議案を審査した。

また、改修が必要となっている農業用水路の状況などについて事務調査を実施した。

◎戸籍に係る電子情報処理事務の委託

○全会一致で可決すべきものとする。

・戸籍システムの更新にあたり、コンピュータの共同利用により事務の効率化と経費削減を図るためサーバーを設置する岡谷市に戸籍関連設備の管理事務委託をするもの。

・個人情報の安全性、事務委託による経費節減等について議論した。

・個人情報情報の漏洩防止、セキュリティ対策については徹底している。経費については、5年間で650万円の節減になるとの説明があった。

◎印鑑登録及び証明に関する条例の改正

○賛成多数で可決すべきものとする。

・外国人登録法の廃止、外国人住民に係る住民基本台帳法等関係法令の改正にともなうもの。

・印鑑登録する外国人の氏名のほかに通称名でも登録できるとの説明があった。

◎24年度一般会計補正予算

○賛成多数で可決すべきものとする。

・エコビレッジ事業による展示用ストロブの設置。

・農業用排水路の改修などに要する建設資材支給事業。

・自然文化園レストラン「原村菜園」の冷蔵庫、製水器具の更新などに要する経費。

・まきストロブ燃料の村産材

の活用方法などについて議論した。

・まきストロブ活用のためのまきステーションの検討も必要になる。との説明があった。

・まきストロブの導入に当たっては、他のメーカーの参入も検討する必要がある。

・自然文化園レストラン「原村菜園」の整備は、原村産野菜の提供を特色とした地域密着の食の拠点となることを期待したい。

・水路は基盤整備終了後年数が経過し、老朽化は全村に拡大している、計画的に改修することが必要ではないか。などの意見があった。

・水田水路破損状況

・施設の老朽化、凍結などによりU字溝の倒壊、破損が各所で発生している。

・資材支給事業で改修が行われているが、大規模破損力所については、国、県の事業を取り入れ計画的な施行を要望したい。

・県営中山間地総合対策整備事業（北芳原農道整備事業）

・建設資材等支給事業は冬期凍結で破損した水路等の改修につながる。

・保育所の駐車場は手ぜまになっている。駐車場の整備

・自然文化園レストラン「原村菜園」の冷蔵庫、製水器具の更新などに要する経費。

・まきストロブ燃料の村産材

・自然文化園レストラン「原村菜園」の整備は、原村産野菜の提供を特色とした地域密着の食の拠点となることを期待したい。

・水路は基盤整備終了後年数が経過し、老朽化は全村に拡大している、計画的に改修することが必要ではないか。などの意見があった。

事務調査報告

は、多目的に利用出来、交通の安全対策からも必要。まきストロブの展示、普及はカラ松など村産材の有効利用につながる。

◎八ヶ岳自然文化園（レストラン「原村菜園」）

・ビュッフェ方式の多彩なメニュー特に地元野菜の提供が好評で来客数、売り上げ共増加している。今後更に地元農産物の活用と自然文化園活性化の拠点となることを期待したい。

・建設資材等支給事業は冬期凍結で破損した水路等の改修につながる。

・保育所の駐車場は手ぜまになっている。駐車場の整備

・自然文化園レストラン「原村菜園」の整備は、原村産野菜の提供を特色とした地域密着の食の拠点となることを期待したい。

・水路は基盤整備終了後年数が経過し、老朽化は全村に拡大している、計画的に改修することが必要ではないか。などの意見があった。

・水田水路破損状況

・施設の老朽化、凍結などによりU字溝の倒壊、破損が各所で発生している。

・資材支給事業で改修が行われているが、大規模破損力所については、国、県の事業を取り入れ計画的な施行を要望したい。

・県営中山間地総合対策整備事業（北芳原農道整備事業）

・建設資材等支給事業は冬期凍結で破損した水路等の改修につながる。

・保育所の駐車場は手ぜまになっている。駐車場の整備

・農道改修（拡幅、舗装）工事。事業規模幅5m、距離1km。集中豪雨時の雨水、土砂の下流域及び県道への流出について充分調査検討する必要がある。



原村菜園

社会文教常任委員会

委員長 長谷川 寛

24年度一般会計補正予算条例改正各1議案、陳情3件について審査した。

◎村営住宅管理条例の一部改正

○全会一致で可決すべきものとする。

- ・入居者要件の緩和。
- ・老人、障害がある方の場合、単身になっても入居資格を失わないというもの。

前回の改正で、不備のあった部分を補完するもの。

反対討論

- ・保育所駐車場造成工事にかかる費用が670万円と、かかりすぎると思う。

賛成討論

- ・給食棟用地の買い上げや、駐車場用地の借り上げなど、懸案の問題を粘り強く交渉していることを評価したい。

◎24年度一般会計補正予算

○賛成多数で可決すべきものとする。

- ・保育所給食棟建設用地取得。
- ・保育所駐車場土地借り上げ。
- ・小学校、落雷被害の修繕。
- ・中学校吹奏楽用楽器等購入。
- ・南信地域町村交通災害共済の特例交付金があった。

◎義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情書

○委員長裁決により、採択すべきものとする。

- ・陳情書の要求の仕方が分かりにくい。国庫負担はしてもらいたい。地方分権の趣旨からも交付税があるので、三分の一でも良い。不採択。

・義務教育は、地域格差なく、平等に国が負担すべき。採択。との討論があった。

◎30人以下学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する陳情書

○委員長裁決で採択すべきものとする。

- ・30人以下はクラス編成によつては少人数になりすぎてしまう。長野県の30人規模学級の方が良いと思うので不採択。

・教育の専門家が、少人数クラスの方が望ましいとしている。その方が行き届いた教育ができると思うので採択すべき。との意見があった。

◎長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への拡大を求める意見書提出に関する陳情書

賛成多数で採択すべきものとする。

- ・長野県の方針としてやる方向なので意見書、陳情書はいらぬ。
- ・確実に実行してもらいたいし、陳情の意味はある。意見書も上げるべき。

(5) 第110号 はらむら議会だより

意見

・落雷被害を防ぐ有効な手立ては、研究してもらいたい。



今年も、議員全員と村職員で、鉢巻道路沿いの記念植樹された森の下草刈作業を7月6日に行った

質問

広報など刊行物への 有料広告の掲載は

小平 雅彦



広告掲載に 取り組んでいきたい

〔質問〕 行政施策展開の根拠となる条例、規則が時代の変化に対応しているか、総合計画の方針に合致しているか、などの視点から点検、見直しが必要と考えるが。

〔課長〕 来年4月に第3次地域主権一括法が制定される。これにともない条例など関係法令の改廃、用語の見直しなど整備を図っていく。

〔質問〕 自治体発行の刊行物への有料広告は地域に密着した信頼性の高いメディアとして、商工業者など広告掲載者の評価も高い。また、収入は自治体財源として活用出来る。今後広報など、刊行物に有料の広告を掲載する考えは。

〔課長〕 原村広告掲載要綱に基づき、役場封筒などへの広告掲載について検討する。

〔質問〕 医療費の適正化、国保会計の健全化、医療費特別給付金制度のあり方に対する考えは。

農産物加工所開設は

木下 貞彦



村予算で建設する

〔質問〕 農産物直売所・加工所の過去、現在の取り組み状況と将来の見通しは。

〔課長〕 10年ほど前、県営中山間総合整備事業を導入し、加工施設、直売所を整備する事業計画が採択となったが、経営面等问题があり、施設整備を断念した。6年ほど前に、加工所建設を目指す専門部会の立ち上げの協議がなされたが、経営の困難さから実現できなかった。本年農産物加工所施設直売所等設置検討会を2回開催した。村の農産物を使って加工品を作りたいという個人、グループ、団体から具体的なものが8件ある。今後も広く募集して進めていきたい。

〔課長〕 有望な計画が出てきて、相談を重ねる中で見通しをつけて加工所そのものは村の予算で作り、運営については商売として自分で達でペイするようやってみよう。

〔質問〕 公民館補助金交付要綱に太陽光発電設置を加えては。

〔課長〕 現在地区館、分館は補助金制度対象外なので地区館分館長会議で検討する。

〔質問〕 入園、小中入學式の祝辞のいずれの中にも「朝食を食べて通園、通学するんだよ」との話があり、幼児教育と躰についてどうあるべきと考えるか。

〔課長〕 「三つ子の魂百まで」幼児教育は大事。夫婦の宝である子どもはキッチンと大事に育ててほしい。

〔教育長〕 厳しい社会状況の中で家庭がすべてではない。教育委員会、学校として平成21年より、子育て・家庭学習の手引き、原っ子子育て十カ条というのを全校配布、その後は1年生だけ配布している。基本的なものは家庭でやっていただきたい。



原村でも 小水力発電の開発を

鮫島和美

開発は困難である

〔質問〕 住民からの相談を受ける「相談室（コーナー）」が役場内に必要である。「村長」相談事については当直室、小会議室などを利用しているのが役場内の現

〔質問〕 再生エネルギーの開発と共に、今、重要なのは省エネルギーである。各家庭でのLED電球、省エネタイプの電球への切り替えを奨励すること、白熱電球に比べて高額なのでそのための補助も考えて欲しい。「村長」LED化は必要ではあるが経費がかかる。家庭のLED化への補助は無理である。

〔質問〕 消防署東広場が職員用の駐車場になっているが、特に冬は、帰宅が遅くなると暗くてこわいとの声を聞いている。照明等の整備を願いたい。「村長」現在、保育所隣接地に新たな駐車場の確保を進めているので、その辺を理解して欲しい。

〔質問〕 議会傍聴席への階段に手すりをつけて欲しいという要望がある。高齢者等への配慮を願いたい。「村長」設置の方向で考える。



学童クラブ

一般 村政を

〔質問〕 原発からの撤退を求めるなら、その出発点として自然エネルギーの開発に力を入れるべき。原村でも小水力発電の開発を考えるべきではないか。「村長」原村で出来ないとは言えないが、村内で安定した水量は得られないし、施設のための投資額、水利権の問題等考えるとむずかしい。



大久保、柳沢地域の人口増対策

小池和男

かなり難しい

〔質問〕 特定の地域の人口は増えているが、大久保の日吉神社の北側一帯の茅野地籍部分を原村地籍にして人口減少を止めたい。又、若者定住促進新築住宅補助金（時限のある）が受けられない。「村長」以前交換した時、

4倍程度の面積を要求されたことがあり、かなり難しい折衝になる。地権者の皆さんが、「この地籍を原村地籍に変更しよう。」など。この地域の全員の意見がまとまれば、考えたい。〔質問〕 外来植物の駆除及び進入防止について、抜き取りを強力に推進してほしい。「村長」区長懇談会に話っ



小池 利治

災害時の緊急放送は

後期5カ年計画で 検討している

「課長」屋外にいる人たちへの情報伝達は同報系による屋外無線、防災無線による放送が有効。総合計画の後期5カ年計画で移動系の防災行政無線のデジタル化と、同報系の防災行政無線の導入を、検討している。こうした施策を更新、あるいは新設等すれば、その費用は2億円を超える莫大な負担が予想される。

（質問）外来植物について村内を見ても外来種が目につく。西洋タンポポ、ハルザキヤマガラシ、オオハンゴンソウ、オオブタクサ、メマツヨイグサ等、外来種は草丈が高く大群落を作り、在来種の生育を脅かしている。子どもたちも交えて、全村的に駆除する日を設けるか、各地区毎に駆除する日呼びかけては。

「課長」村でも力を入れなければいけないと思っ

（質問）災害時の緊急放送について、日本列島はさまざまな災害が頻繁に起きている。原村では災害時の緊急放送は有線放送で知らせている。有線放送では屋内にいる人たちに限られ、屋外にいる人たちには伝わらない。防災行政無線による屋外スピーカー、停電時でも役立つ防災ラジオ等、対策を考えるべきでは。

（質問）霜注意報など村の広報車を使って村民に知らせればどうか。

空き家の維持管理の条例化、所有者の相談窓口を設けるべきでは

宮坂 早苗



空き家については、何らかの情報は整えていく必要はある

「課長」公報車での周知は一時間ほどかかり、速やかな対策はできない。有線放送を活用しながら迅速な周知に心がけていく。



う意味では、新築住宅だけでなく、中古の建物も対象にするべきではないか。「課長」新築であるとして、いろいろな業種が入って、経済的に寄与できる。新築住宅でお願したい。

（質問）空き家は、個人住宅だけでなく、工場、事業所等もある。今後、シェアハウス等が増えてくると、空き家は、ますます増えてくる。空き家は、太陽光エネルギーの発電所、村内グリープの活動拠点にもなる。空き家の維持管理について、検討をするべきではないか。

「課長」諏訪地域の行政課題の中でも、廃屋、廃墟化したホテル等の問題が議論されている。個人資産なので、所有者の同意が必要になり、打開策がない。地域・保護者の声、行政のお願いというものが、最適であると思う。

（質問）「若者定住促進新築住宅補助金交付要綱」について、若者定住促進とい

（質問）「人づくり事業交付金要綱」の中に、高校生、大学生も明記するべきではないか。村が持続していくためには、若い力は不可欠である。また「その他村長が認めるもの」とは、どのような基準なのか。

「課長」一人一生に一度使えるもの。大勢の人に公平に、高校生や大学生も対象になっている。「その他村長が認めるもの」については、明確な基準はない。

（質問）村独自の農地・農機バンクの検討をしていく必要があるのではないか。「課長」JA等と協議しながら、使いやすい農機バンクを検討していきたい。

消費生活相談員を配置し 窓口を設置すべき

矢島昌彦



村で相談窓口は 持つことができない

の相談者は1件。

〔質問〕茅野市は昨年4月に相談窓口を開設。前年の24倍、226件の相談があった。専門の窓口を設けたことで相談しやすくなったためだ。難しい案件や早い対応をするには松本は遠すぎる。原村にも専門の相談員を置き窓口をつくるべきではないか。

〔村長〕原村のような小さな人口では相談窓口は持てない。県松本消費生活センターの相談員体制でやる。

〔質問〕原村勤労者生活資金融資制度で融資を受けるには、「原村勤労者互助会会員であること」とあるが、現在互助会の実態はどうなっているか。

〔副村長〕昭和52年に発足し、平成5年まで互助会員は50人程いた。村も補助金を出していた。現在は活動が停止状態。

〔質問〕互助会の実態が無いと会員にはなれないし、この制度も利用できない。

議会報告会・懇談会

昨年11月に続き、4月17日（中新田稲転研修施設）、同20日（大久保公民館）の両日、議会報告会・懇談会を開催した。

当日、次のご意見・

ご質問を頂きました。

- ◎有害鳥獣の防護柵の設置について
- ◎エコビレッジについて
- ◎医療費の無料化について
- ◎水資源の保護について
- ◎サラダチャンネルの廃止について
- ◎防災マップについて
- ◎上下水道について
- ◎観光施設について
- ◎福祉センターの改修について

住民の皆さんから頂いたたくさんのご意見を、今後の議会活動に生かしていきたいと考えております。今後多数の皆さんのご参加をお願いします。

〔副村長〕この制度は、原

村に居住する勤労者の、生活の安定を図り福祉の向上を資する制度である。原村在住の勤労者であればこの融資制度を利用できる場合もある。

〔質問〕実態のない勤労者互助会を用語として用いている要綱をどうするか。

〔副村長〕この要綱を再点検し、実態に沿うよう見直したい。



議会報告会

議会日誌

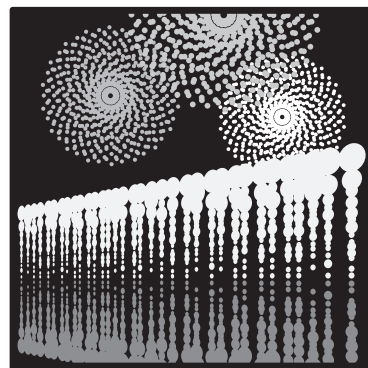
4月	2日	原村保育所入園式	15日	会計監査
4日	原中学校入学式	進協議会決算監査	8日	第2回原村議会 定例会
9日	原小学校入学式	県知事と市町村長との意見懇談会	8日	全員協議会
10日	こひつじ幼稚園入園式	原村地域包括医療推進協議会	12日	全員協議会
17日	議会広報編集委員会	原村環境保全審議会	19日	議会運営委員会
18日	議会報告・懇談会 (中新田)	茅野広域連合議会運営委員会	21日	長野技能五輪2012 諏訪地区委員会総会
20日	茅野市議会あり方検討会研修来庁	茅野広域シルバー人材センター通常総会	24日	諏訪ポンプ操法大会
23日	茅野市・原村・富士見地区農作物価格安定対策事業運営協議会総会	茅野交通安全協会原支部定期総会	28日	景観と村づくりの会
26日	日本禁煙友愛会原支部定期総会	諏訪湖流域下水道促進協議会定例会	29日	議会広報編集委員会 諏訪広域連合議会運営委員会
27日	議会運営委員会	茅野防犯協会連合会理事会及び定期総会		
28日	原村商工会会員親睦お花見会	立沢区・広河原4区・原村との境界確認 東京原郷友会総会 八ヶ岳(阿弥陀岳) 開山祭		
5月	7日	全員協議会	3日	開山祭
	7日	第1回原村議会臨時会	5日	議会運営委員会
	14日	原村商工会通常総会 茅野防犯協会連合会	7日	原村防犯組合定期総会
			7日	日本禁煙友愛会原支部ゲートボール大会
			2日	6月
			2日	立沢区・広河原4区・原村との境界確認 東京原郷友会総会 八ヶ岳(阿弥陀岳) 開山祭

議会の傍聴にお出かけください

次回(平成24年9月)の定例会は
9月11日(火)招集の予定です。

一般質問の放送を
サラダチャンネルで行っています。
どうぞご覧ください。

お問い合わせは、議会事務局(0266-79-7951)



編集後記

いろいろな意味で地球全体が大きな曲がり角にきているということでしょうか。地震、津波、豪雨、竜巻など、あまりにも頻繁に起こる大きな自然災害。それに大半の国民が反対しているというのに原発再稼働の動きは急速に進められています。「自治体」は一人ひとりの住民の命を守る防波堤にならなければなりません。一人ひとりの住民が命、生活のより所として頼るのはやはり「村」。議員として改めて身を引き締めて行きたいと思っています。

議会活動などについてぜひ、皆さんのご意見をお寄せください。

(鮫島和美 記)

編集委員会

- 委員長 小林庄三郎
- 副委員長 小平 雅彦
- 委員 小池 和男
- 同 宮坂 早苗
- 同 鮫島 和美
- 同 日達 徳吉